

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が意見を出し合って決めた理念をホールに掲げ、迷ったり悩んだりした時は理念に基づいて職員同士で話し合いケアに繋げている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から地域や近所の方々と挨拶を交わし、その中で地域の話やこちらの様子など会話を通して情報交換をしている。	コロナ渦難しいと思いますが、ホームページや地域の方々へ向けての研修や勉強会などが行われていければ理解や交流ができてくると思います。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進委員の方々にホームでの活動や研修報告をし、活動内容は資料や写真を使用して行っている。会議での意見や助言を運営や支援に反映できるよう努めている。	会議等で日々の様子や行事の出来事(写真)様子がみれることができいいと思います。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族からの問い合わせや不明点なども市町村と積極的に連携をとり、理解と納得につなげ協力関係を気づくようにしている。	勉強会やホームからの働きかけをできていければ、施設の状況や情報を知ることができると思う。交流や協力関係を築くことができると思う。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防犯の観点から夜間のみ施錠を行っているが、身体拘束・不適切ケアの勉強会を年に2回行い、日頃から職員同士で声をかけあいケアに努めている。		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護保険法に基づいたうえで、職員が身体拘束・不適切ケアの知識を理解し日々のケア・支援に努めている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会を設立し、年4回の委員会を開催している。また、虐待防止等に関する社内研修も行い職員の知識や技術の向上に努め、職員全員が共通の知識をもち虐待防止に努めている。		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安全が第一で皆さんの日々を守る訓練や勉強会が良く行われている。虐待防止検討委員会では率先して取り組んでいる。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	これまで利用した人はいません。自立支援事業や成年後見制度についての資料を必要時に活用できるよう努めている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約や改定等の際には疑問点や不安点がないかを尋ねながら説明し、家族からの質問や不明点などをその都度聞き取り納得が得られるように努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議でいただいた意見や要望はノート、議事録の記録物を通して共有し、面会や受診等でいただいた家族からの意見もカンファレンスで共有し運営に反映するよう努めている		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の資料はHP掲載し事業所の見やすい場所へ公表し職員が理解することができているか。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回の主任会議、管理者会議を通して職員の意見や要望を提示し運営に反映できる環境作りと、時間を設けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から職員とコミュニケーションを大切にし、こまめに現場に顔を出し一人一人の思いや考えを把握できるよう努め、職員の話しやすい関係性作りにも努めている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員のモチベーションに繋がる介護職員処遇改善加算についての計画書、説明ができているか。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ渦の影響で研修の自粛や延期等もあり、思うように研修の確保ができなかったが、職員にとって必要な研修や個々にあった研修内容の情報提供に努めている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員も安心して安全が第一で会社内でも訓練や研修を実施されているようで安心。外部での職員研修も可能な限り行っていったい欲しい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ渦の影響で、交流する機会や、訪問等の活動は殆ど行われなかったが、集団指導やリモートを通しての同業者との交流や情報交換を行いサービスの向上に努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭的な雰囲気づくりを大切に、利用者一人一人に無理なく役割を持ってもらい職員と一緒にいることで、利用者と職員が共に生活していく関係性づくりに努めている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ渦で面会制限もあり、馴染みの場所に出かけたり、思うような支援はできなかったが、リモートや電話を通して関係性が途切れないう努め可能な範囲で制限を設けての面会も行っている。	コロナ渦で制限がかけられてる中、外出や思うように出来ない中、利用者に寄り添いきめ細やかな気づかいで守っていただけていると感じています。		
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話や本人の言葉だけでなく、表情や行動の中からも希望や思いの把握に努めている。一人ひとりの思いに寄り添い生活できるよう努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンス、申し送りを通して職員同士の意見を出し合っている。受診時や家族への電話での状況報告を通して出た意見等を、介護計画作成に反映させ、現状に即した介護計画書になるよう努めている。	毎日利用者さんとふれているスタッフさんが利用者さんの望んでいることを実現されようとアイデアを出し合いケアにつなげられているのが伝わってきます。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員同士の情報共有はとても重要であり、引き続き取り組んで頂きたいと思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人記録に介護計画に基づいた項目、チェック欄を設けて記載し、職員が担当につくことで日々の気づきや、変化などを職員間で情報交換をし、介護計画の見直しの際に活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録類、計画書はとても重要で情報共有は引き続き職員間で行って欲しいと思います。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の日々の変化や状況を職員で共有することで、その時々生まれるニーズや本人の希望に添うように支援している。また家族との連絡を通して希望や要望に対応できるよう努めている。	スタッフさん方が皆さんで支え合いながら、その時々に応じた支援をしていることが伝わり、家族に対しても希望に沿うように努められている。利用者さんにも伝わっていると思います。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村の情報や運営推進会議を通して得た情報を職員と共有し、利用者一人ひとりの支援に役立てることができるように努めている。	運営推進会議で得た情報やアイデアをホームの職員さんと活かして地域へ向けた取り組みや、勉強会、行事の発信を行ってみたい。		



21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の病状を把握し、かかりつけ医との連携を図り本人と家族の希望に添えるよう努めている。週1回の訪問看護とも情報の共有に努めている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の過ごし方や本人の状況を医療機関に情報提供している。また、入院期間も看護師等に電話での連絡や状態の把握、相談に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も医療機関との連携を密にしていって欲しい。訪問看護との利用者の情報共有をきづいてほしい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院の段階から家族に今後の状況や方針について相談する環境をつくり、家族の意向や思いの把握と施設での可能な限りの支援に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護職員だからこそできる、本人・家族の心に寄りそうケアをされていると感じた。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変・事故発生時のマニュアルを用意し、職員が共有できるようにしている。また、カンファレンスでの応急処置・初期手当の対応を確認するよう努めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の避難訓練を実施し、災害時のマニュアルを職員全員で共有している。また、運営推進会議で避難訓練時の様子や取り組みを伝え、災害時の避難場所や、地域からの情報を得ている。	地域の住民を交えての訓練を実際に行うことができればいざという時に協力をすることができ、施設内を知る機会にもなると思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員だけでなく、地域の方から避難訓練に参加していただいているか。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の言葉からだけでなく、表情からも思いをくみとるよう努め、特に排泄の際や入浴時などはプライバシー保護に十分に気をつけ、話し方や声量に配慮したケアに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の人権と人格の尊重を理解してケアに活かして取り組んでいるようで大いに評価する。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	業務や一日の流れに固辞する事なく、心身の状態に合わせ、一人一人の思いや声を傾聴するよう努め、一日の状態を朝の申し送り時に職員で共有し、支援している。			

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	行事の際の献立は利用者と一緒に考えて楽しめるよう支援している。また月に1回のおやつ作りでは、地域特有の食べ物や季節に応じた献立を利用者と一緒に考え行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	生活の中で食事は一番楽しみであると考えます。作って下さる職員の工夫や考えがみられ引き続き力を入れて取り組んでもらいたい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人一人の栄養バランス、水分量を考え本人の希望に添いながら支援している。また個人記録を通して、水分量の把握に努め、職員で共有している。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケア、義歯洗浄を行っているが、ケアのタイミングや誘導の声掛けは一人一人に合わせて行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	フレイル、オーロラフレイルを予防することも大変重要なことだと考える。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	チェックシートを使用し排泄の有無の確認や、個々に合わせたトイレ誘導の声掛けを行いなるべくトイレでの排泄につながるよう支援している。個々に応じて必要時には服薬での調整を行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個人を守りながらそれに向けて積極的にアイデアを出しながら取り組んでいる。個々の尊厳を保持し、有する能力に応じ、自立した日常生活ができるよう引き続き取り組んでもらいたい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その日の体調や状態を見ながらできるだけ本人の希望に合わせて入浴を楽しめるよう支援し、声掛けを行っている。必要時には清拭も行っている。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	これまでの生活習慣を大切にして、本人が使用してきた寝具や居室の環境調整にも努めている。また休息のタイミングは個々に合わせ、都度職員が声掛けを行うように支援している。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬の作用、目的等職員が、理解することに努めて、担当をもつことにより責任をもち内服の変更時には情報の共有と、体調変化、様子観察に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が一人一人の病状や身体状態、内服を理解し今後も取り組んでほしい。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活歴を見ながら声掛けや、作業、趣味を一緒に楽しみや気分転換できるよう努め、個々の力に応じての家事作業での役割をもち自身の力を活かせるよう支援してる。	大きな病気もせず健康的に日々を送ることができていることに感謝しています。楽しみの一つとして食事の工夫もされていることが伺えてありがたいと思います。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ渦で外出、交流等は控えています。天気や、利用者のその日の体調をみながらドライブや、ホームの敷地内での昼食をとり、気分転換を図り楽しめるよう努めています。	外出が交流の制限がありストレスを感じていると思います。ホーム内で出来るケアや行事を写真やお知らせで知ることができ、コロナ渦でも工夫されていることを感じます。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現金を所持し買い物の際自身で支払いや、希望の物を購入できるよう支援している。また、お金の管理ができない場合も、本人の預り金の中から希望するものや必要品を購入できるよう支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯、タブレット端末でのやり取りの支援をしている。また、本人と可能な限りいつでも連絡が取れることを家族に伝え家族や大切な方との関係性を大切にしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホールのテーブル、ソファ等の配置を広くとり、安全に歩行やくつろげるよう配慮し一人一人が自由に過ごせる環境づくりに努めている。また、季節に合わせての飾りや、花、空気清浄や加湿器の調整を含め健康的でくつろげる空間づくりにも力を入れている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	明るく清潔感が保たれている。今後も清潔保持や、利用者、職員も過ごしやすい、働きやすい環境づくりに取り組んでほしい。	
<b>IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常会話や生活歴、家族からの情報をもとに介護計画を作成し、暮らし方の意向や本人の思いに沿った暮らし方ができるよう支援している。			



41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活習慣、その方の好みや情報を職員で共有しケアに努めている。また、電話や手紙等を通して友人関係や大切な方との交流、関係性を大切にしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人記録、申し送り、連絡ノートを使用し、日々の状態の変化を把握しケアに努めている。また朝の申し送り時にはその日の健康状態を必ず申し送り、状態に応じたケアをするよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人記録にケアプランの実施をチェック項目に取り入れ、その方の習慣や得意な事、役割を個々に合ったペースで行えるよう支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安全面を考慮した上で自室への個人の持ち込みの制限は特になく、馴染みの環境や生活ができるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人らしさを大切に安全面にも考慮した対応は素晴らしい。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の希望を考慮して、買い物や外出、行事等に参加できるよう努めているが、現在は感染症対策を踏まえ、必要品等ある場合は個々に聞き取り職員が対応している。	コロナ渦でもホーム内でできる事を考え、アイデアを出し合っている職員さんの姿は利用者さんへの感動のサービス提供につながっていると思います。コロナ渦が終息した際には地域の方々との楽しい行事が行われる事を願いたいです。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は個々の能力を把握し、担当をもつことでその方を深く知り、関わることができている。また、その情報を職員と共有し、役割やできることを生活の中で取り入れ職員と一緒に楽しみながら行えるよう支援している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や、興味のあることを職員全員が把握し、職員と一緒に花植えや、食事の準備、家事作業等をしていきいきと自分のペースで楽しく過ごせるよう支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や趣味など、その人らしさを職員が情報共有し、支援に活かしており素晴らしい。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近所に散歩に出かけたり、行事を通して挨拶や会話を交わすことで近隣との交流ができているが、コロナ渦であり、外出、交流の機会は減っている。	コロナ渦で思うように外出、地域交流ができていない中でもホーム内で行える事を職員の方々が考え取り組んでいる。地域の方々と青空市場や楽しい行事を家族と一緒にやって行えることを願っています。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ渦の影響もあり今は外出や、地域との交流を控えているが、その中でも職員と一緒に作業や、物事に取り組み、共に生活をする事で、信頼関係や利用者の安心・安全につながり、よりよい日々をおくることできるよう努めている。	コロナ渦で大変な中、利用者、家族の方々を含め連携してホームとの信頼関係が感じられる。コロナ渦が終息して地域の方々との交流や外出ができる事を願っています。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の利用者の変化や状況に対応している。アイデアや職員間での情報の共有、連携がみられる。今後も継続してほしい。